

札幌保健医療大学地域貢献・社会連携に関する方針

札幌保健医療大学は、本学の教育・研究に関する人的・物的資源を活用し、それらを地域社会に還元することを通して、「地域に根ざす」「地域から必要とされる」大学としての役割を果たすため、下記に大学が組織的に展開する地域貢献・社会連携に関する方針を示す。

1. 基本的な考え方

本学における地域貢献・社会連携は、地域社会での活動を通じた学生の学びの機会の提供、教職員の研究成果等の還元や社会活動により、地域住民のニーズ、及び保健医療福祉の充実に寄与するものとする。

2. 地域貢献の推進

本学における地域貢献は、以下の考え方に基づいて行う。

- (1) 日々の教育研究活動の成果等を社会に還元し、地域住民の健康増進に向けた取組を行う。
- (2) 地域住民を対象とする公開講座・講師派遣、図書館等が蓄積する学術情報等の活用を通して、健康・生活にかかわる生涯学習の機会を提供する。
- (3) 看護師・保健師、管理栄養士等として活躍する卒業生を継続的に支援するとともに、地域の保健医療等を支える専門職の能力向上に関わることをとおして、保健医療福祉を担う人材の育成に寄与する。
- (4) 地域社会等のニーズに基づく大学施設の開放、学生の課外活動等による地域貢献活動への参画を促す。

3. 社会連携の推進

本学における社会連携は、以下の考え方に基づいて行う。

- (1) 社会連携の対象は、本学の教育研究、学生支援、学生確保等に関わり、本学の発展と地域の保健医療福祉の充実に貢献するものとする。
- (2) 社会連携は、公平性・持続性を重視した協定等の締結、もしくは契約等により、協力内容、役割分担、責任体制等を明確化して行うこととする。
- (3) 社会連携の推進を可能にする組織や制度の充実に図る。

4. 情報発信・情報提供の推進

本学は、教職員、及び学生の地域貢献・社会連携を支援するとともに、それらに関わる情報発信・情報提供を積極的に行って地域社会との連携を深めるとともに、本学に対する認知度を高める。